

2010 年 4 月 30 日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 自立生活センター・昭島

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

障害者の権利条約を市民へ伝え、虐待をなくす地域社会を目指す事業

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

昭島市は地域出身者の住民移動が多い地域で、核家族化が進んでいる。また障害者の子どもをもつ団塊世代の親たちの高齢化など、「親亡きあとは施設入所」という、親のアンケート結果が現状を物語っている。このような障害者の地域生活を改善するために、市民への権利擁護の意識啓発が必要だと思われる。

上記のような地域状態では障害者が主体性をもった生活を送る事は困難である。今回のプロジェクトを通して障害者虐待のない、また障害者のニーズをフォローできる地域社会に変えていくことを目標とする。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

・講演勉強会を開催 2回 「障害者の権利条約について」

「障害者の虐待について」

場所 昭島市保健福祉センター「あいぼっく」

・「活動報告書」の作成・印刷・配布(各、講演勉強会参加者配布)

(「通信」に、報告概略を記載して配布)

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

昭島市社会福祉協議会、昭島市福祉ネットワーク、東京都自立生活センター協議会に呼びかけた結果、市会議員を初めとする参加者の層が広がり、昭島市で差別禁止と虐待の問題に一石を投じることが出来た。

又、虐待の講演の中では、ロールプレイング多用したので多くの参加者が虐待について具体的な事象を体験できたと思う。又、権利条約については、国連の条約発効の経過から、昭島という身近なところまで、教えて頂いたので、より必要性を参加者は感じたのではないかと。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

事務所の中での感想として、差別や虐待が、加害者からは意識のないままに、行ってしまう恐れがあるのではないかと感じる感想があった。

それについては、21年度の中で、虐待についての原因や予防に関して、掘り下げる作業を行いたいと思う。

又、昭島市内の障害者関連団体のネットワークでは、差別禁止条例についての感心が高まってきた。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

# 「障害者の虐待について」の講演会 (ワークショップ)

前回の「障害者の権利条約」の講演会にご参加いただき、ありがとうございました。

引き続き、「Shinjioプロジェクト」市民活動公募助成を受け「障害者の権利条約を市民へ伝え、虐待をなくす地域社会を目指す事業」の第2弾として、「障害者の虐待について」の講演会を下記の通り開催致します。

「国際障害者の権利条約」が国連総会にて採択・発効され、日本も条約への署名はしましたが批准はしておらず、障害者の虐待や多くの事件が未だに起こっております。これから、障害児(者)が主体性を持って地域生活を送れる為に、自立生活センター・昭島では、この講演会(ワークショップ)を通して虐待がなくなるよう、より多くの人に考えていただきたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしています。



日 時 : 11月21日(土曜日)  
13:30~16:30 受付13:00~

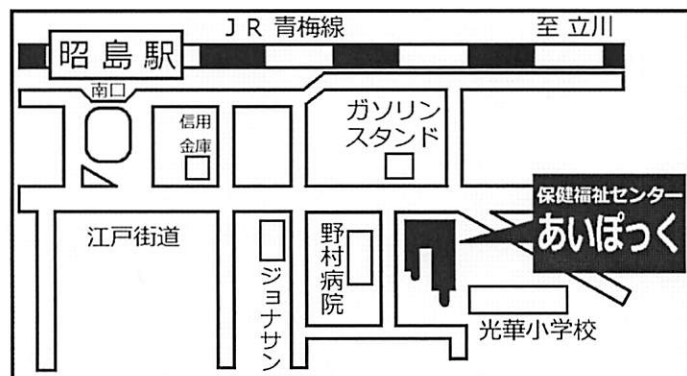
場 所 : 昭島市保健福祉センター(あいぽっく)

内 容 : ワークショップ

講 師 : 佐野 武和氏

参加費 : 無 料

※手話通訳あり



## 講 師 佐野 武和 (さの たけかず)

生後9ヶ月でポリオ障害を受ける。小学生の時に施設生活を経験し、以来入所施設が嫌いになる。高校卒業後、名古屋にて障害者運動や共同体運動に出会う。

20数年前から滋賀県湖北にて、障害者の就労と自立生活運動の実践を開始。アドボケイターやオンブズパーソン活動を中心に展開する。社会福祉法人格を取得し、障害者の就労に特化した事業の代表理事に就任。以降、3カ所の障害者就労センターを設立する。

知人からマーチンのギターを譲り受けたのをきっかけに、事故で落とした左手二本ゆびで独自のギター奏法をあみ出す。いずれミュージシャンとしてのデビューを夢見ている。

参加を希望される方は、下記にご連絡下さい。

~~ 申 込 先 ~~

特定非営利活動法人 自立生活センター・昭島 〒196-0025 東京都昭島市朝日町3-18-12  
TEL: 042-545-7553 FAX: 042-545-7637 メールアドレス: cila@nifty.com 担当: 吉本

2009年11月21日「障害者の虐待について」の講演会

